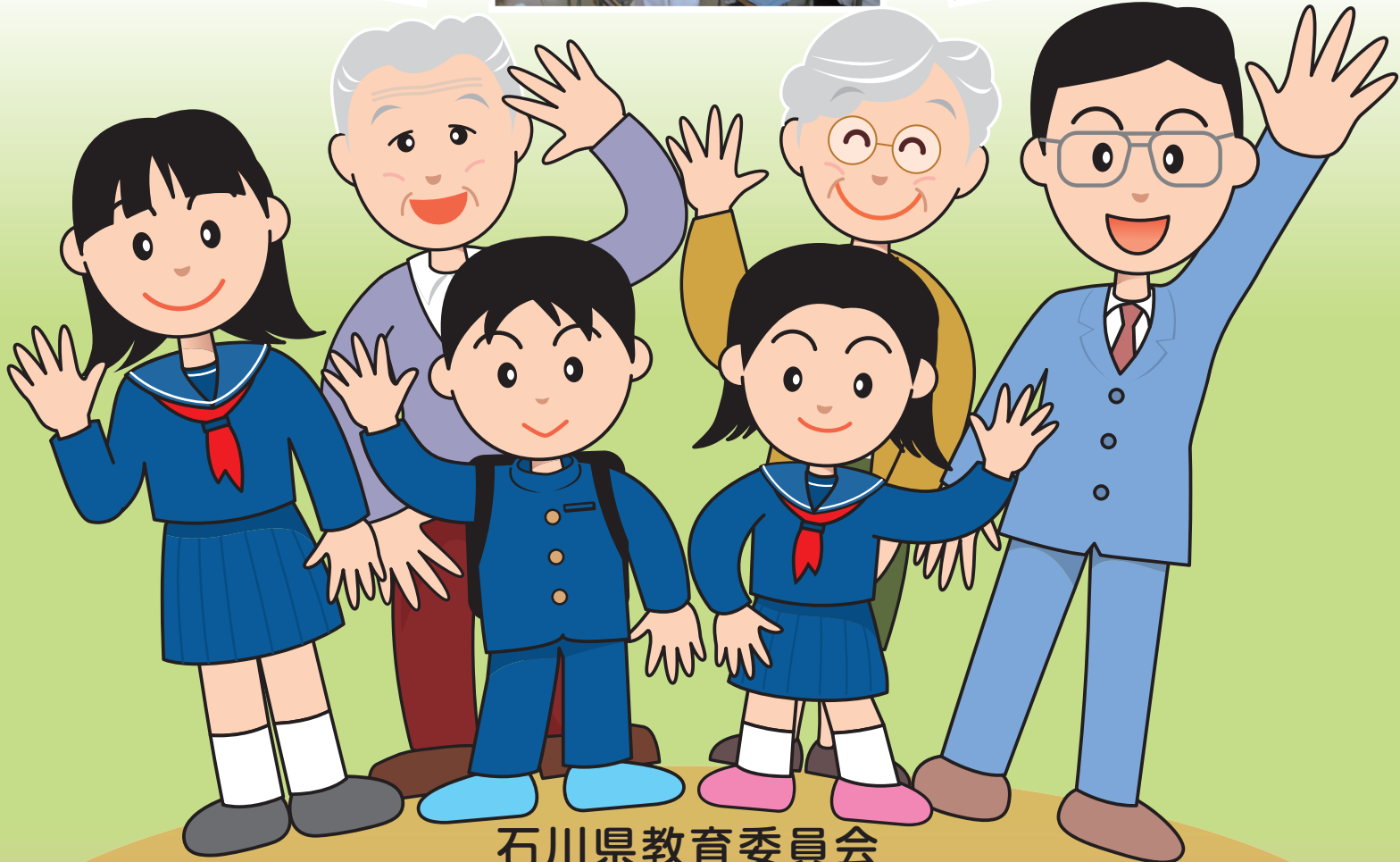




平成25年度 地域ぐるみの学校支援推進事業 事業報告書



石川県教育委員会

も く じ

○ 地域ぐるみの学校支援推進事業	1
○ 地域ぐるみの学校支援推進事業 各市町の取組事例	
金 沢 市 「金沢市学校支援地域本部」	2
小 松 市 「小松市地域ぐるみ学校支援推進事業実行委員会」	6
輪 島 市 「輪島市地域協育推進委員会」	10
羽 咋 市 「羽咋市地域ぐるみの学校支援推進事業実行委員会」	14
白 山 市 「白山市学校支援地域本部実行委員会」	18
宝達志水町 「宝達志水町学校支援地域本部実行委員会」	22
中能登町 「中能登町学校支援実行委員会」	24
穴 水 町 「穴水町学校支援実行委員会」	26
○ 平成 25 年度地域コーディネーター研修会	28

地域ぐるみの学校支援推進事業

平成20年度より、**学校支援地域本部事業**が全国でスタートしました。学校を支援するため、学校が必要とする活動について地域の方々を**学校支援ボランティア**として派遣する事業で、いわば**地域につくられた学校の応援団**といえます。

石川県でも、25年度は8市町26本部（中学校25校、小学校49校、特別支援学校1校）において、授業の補助をする学習支援、登下校の安全指導、図書室や花壇の環境整備など、地域の実情に応じた様々な支援活動が実施されています。

本冊子をとおして、取り組みの情報を共有していただき、より効果的な学校支援が実践されますことを願っています。

例えばこんな活動があります！

- **学習支援**…授業の補助、読み聞かせなど
- **部活動支援**…指導補助、大会引率など
- **環境整備**…図書室や花壇の整備など
- **登下校指導**…通学路での安全指導など
- **学校行事支援**…運動会の準備補助など

《学校支援地域本部のねらい》

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる

(1) 学校教育の充実

地域住民の協力を得ることで、教員が教育活動により一層力を注ぐことができ、よりきめ細やかな教育ができる。

(2) 生涯学習社会の実現

地域住民が意欲と関心を持って自らすすんで学校支援活動に参加することは、これまで培ってきた知識や経験を生かす場が広がり、自己実現や生きがいづくりにつながる。

(3) 地域の教育力の向上

地域住民が子どもの発達段階に応じて教育を行う学校で活動することで、近年その低下が指摘されている地域の教育力が向上し、地域の絆が強まり、地域が活性化する。



金 沢 市

活動事例 1

「Beautiful Town Project」

泉中学校

①実施日

平成25年7月26日(金) 8:30～10:00

②対象者

泉中学校(426人)、野町小学校(168人)、弥生小学校(403人)、
中村町小学校(323人)

③支援ボランティア 約80人

④活動の概要

・小中学生が保護者・地域の方と一緒に、地域の清掃活動を行う。

⑤活動の成果

- ・中学生が小学生を指導し、地域の清掃活動を行うことができた。
- ・児童、生徒及び地域の方との交流活動ができた。

⑥感想

○育成委員

- ・中学生が小学生をリードして行う清掃奉仕活動は、地域にとって非常に有り難い。
- ・中村町小出身で高岡中へ進学した生徒も参加した。こういった活動が大切である。



活動事例 2

「図書ボランティア活動(読み聞かせとブックトーク)」

西南部中学校

①実施日 平成25年11月18日～11月22日(5日間)

②対象者 希望参加(80人)

③支援ボランティア 地域・保護者(5名)

④活動の概要

5日間を通して、昼休み(15分程度)に読み聞かせや
ブックトークを行う。

⑤活動の成果

5日間のプログラムは、読み聞かせ(素話、詩、昔話、現代小説など)とブックトーク(科学、社会など)であり、バラエティ豊かな内容となった。

⑥感想

○ボランティアから

- ・期間中の多くが男子生徒の参加で、その聴き入る姿勢に感心した。
- ・友達同士ではなく個人でくる生徒が多く、ざわつきもなく静かに始まる会に、待たれていると感じた。
- ・「あー、楽しかった！明日もきます。」の言葉は、嬉しい褒め言葉でした。



- ①実施日 平成25年6月8日(土) 9:00～11:00
- ②対象物 中学校敷地内樹木
- ③支援ボランティア 地域・保護者ボランティア 11名
教職員 12名、生徒 106名



④活動の概要

前庭やグラウンド回りの樹木剪定・枝拾い・草むしり・校内清掃作業を行った。生徒のボランティアも加わり、グループに分かれ活動した。

⑤活動の成果

樹木剪定作業は、専門職のボランティアの支援もあり、予定より作業がはかどり風通しのよい環境ができた。生徒と教職員、地域の方が一緒に活動し達成感を共有することができた。

⑥感想

○コーディネーターから

よい天気にも恵まれ、予定していなかったグラウンド回りの樹木や下草の整備も行うことができ、大変助かりました。生徒ボランティアもてきぱきと動いて大活躍でした。道具を使うため、安全に配慮しながら活動し無事終える事ができ良かったです。

- ①実施日 平成25年9月4日～10月23日 水曜日 3・4限
10月26日(土) 飛梅祭
- ②対象者 1年生 伝承遊びグループ・日本舞踊グループ
2年生 上野町餅つき踊りグループ
- ③支援ボランティア 地域の婦人会、町会、地域住民、PTAによるボランティア



④活動の概要

- ・総合的な学習「飛梅タイム」の活動で、伝承遊びグループへ地域に伝わる伝承遊びやお手玉つくりをご指導いただく。
- ・日本舞踊グループの浴衣の着付けのお手伝い。
- ・校下の町会に伝わる「上野町餅つき踊り」を教えていただき飛梅祭にて披露。

⑤活動の成果

地域の方が毎週講師として来校し、着付けのお手伝いや指導をしてくださることで、初めはぎこちなかった生徒たちも進んで取り組むようになった。2か月かけて学んだことは大きな財産となり、飛梅祭当日も堂々と発表ができ自信につながったと思う。

⑥感想

○講師の方より

- ・子どもたちがとてもかわいらしく、毎週着付けのお手伝いに行くのが楽しみでした。

○生徒より

- ・飛梅タイムを終えて根気よく続けるのはとても大切なことだと学びました。今まではひとつの目標が達成したらすぐにやめてしまっていたけれど、これからは目標が達成できてもその上を目指して頑張ろうと思います。
- ・初めはこんな小さな布でお手玉が作れるとは思いませんでしたが、講師の方に教えてもらいちゃんと完成できて良かったです。

①実施日・参加者

平成25年7月7日(日) 10:30～12:30
 (地域住民13名・保護者15名・生徒74名)
 平成25年11月30日(土) 9:30～11:00
 (地域住民15名・保護者14名・生徒61名)



②支援ボランティア 保護者や地域住民によるボランティア

③活動の概要

生徒玄関前のプランターに花を植えて4年目。年2回のPTA事業に地域住民に参加をいただき、土作りと花の植え替え作業を行った。生徒・教職員・保護者との協同作業となる。

④活動の成果

和気藹々とした雰囲気の中で協同作業を行うことにより、参加者同士の交流や生徒の学校や地域を愛する意識を高めた。

⑤感想

学校長より…11月30日に行われた花植えには、前日まで降り続いた雨も上がり予想を超える多くの地域の方々に参加していただいた。生徒たちが毎朝通る玄関には70を超えるプランターが並べられ、そのきれいな花は登校してくる一人一人に笑顔でおはようと声をかけているようである。そんな光景を目にして、地域の方々の学校に対する期待の大きさを感じた。

①実施日 平成25年10月7日～12月24日(9日間)

②対象者 2年生、3年生

③支援ボランティア 乳幼児を持つ地域の親子28組、地域の方6名



④活動の概要

家庭科の授業で生徒と乳幼児のふれあい授業を行いたいという依頼があり、地域の親子に協力をお願いし、中2対象に4回、中3対象に5回の授業を実施した。以前から北鳴中の地域開放教室を使って子育てサロン「たんちくらぶ」が運営されていることもあり、そこを訪れる親子や児童館の「かんばん一教室」の親子に声をかけて参加者を募った。

⑤活動の成果

協力してくれた親子は28組。毎回4～8組の親子が9回の授業に参加してくれ、のべ57組が出てくれたことになる。協力してくれる親子がいるか不安だったが、声をかけると反応は良く、誘い合って出てくれた親子もいた。授業では、生徒は慣れないだっこをしたり、おもちゃで遊んであげたり、お母さんにも質問したりして、教科書では学べない体験をした。生徒は赤ちゃんの可愛さ、大変さ、自分も大切に育てられたのだという感謝の気持ちなど多くのことを感じたと思う。

⑥感想

○先生から

地域の方の協力で良い授業ができ、本当にありがとうございました。やってあげたかった授業なので大変嬉しいです。

○生徒から

すごく楽しかった。お母さんは夜も寝れなかつたり、泣いた赤ちゃんをあやしたり、大変だと思った。昔は自分の名前が嫌いだったが今は好き。親が一生懸命考えてつけてくれたんだと思った。

①実施日

平成26年1月11日（土）

②対象者

本校3年生234名

③支援ボランティア

保護者・地域住民支援者 32名

④活動の概要

2年生の生徒会執行部が、3年生の合格を祈願しての餅つきを企画した。実際の運営は、PTAと地域の支援協力者が行った。



⑤活動の成果

大徳公民館から寄付して頂いた餅米を、3年生全員がつくることができた。きな粉、おろし、あんこを各自が選んで、口いっぱいにはほおったあと、3年生全員で、「誓いの学年写真」を撮影した。



⑥感想

○3年生の声

- ・思ったより、もちが甘くておいしかった。
- ・受験に向けて、精一杯がんばろうという気持ちになった。
- ・朝早くから、地域の方々が準備して下さったことに感謝します。

その他の写真

事業の
成果や課題
今後の予定

事業6年目を迎え、金沢市内7中学校区において実施。地域住民とコーディネーターとの信頼関係も確立され、学校は地域の方と関わり合いながら、より学校教育活動を豊かにしている。また、生徒も地域の人たちと関わり合い、見守られながら成長していている。

初めてこの事業を開始する学校はもちろんだが、継続校においても、教職員全員には事業の趣旨が理解されにくいところがある。今後は学校への理解と協力を求めながら、地域と学校との絆を深めていきたい。

運営委員会

金沢市学校支援地域本部

担当課

金沢市教育委員会事務局生涯学習課

TEL・FAX

TEL (076) 220-2441 ・ FAX (076) 220-2488

小 松 市

活動事例 1

「なぎさママの読み聞かせとお話会」

安宅小学校

- ①実施日 読み聞かせ（毎週木曜日）
お話会（年3回）
- ②対象者 全校児童（391名）
- ③支援ボランティア 保護者や地域の方（10名）

④活動の概要

- ・朝読書の時間に各教室に入り読み聞かせをする。
- ・七夕、クリスマス、節分などにちなんだお話会を行う。
- ・図書室業務の補助を行い、児童の読書環境を整えている。



⑤活動の成果

- ・子どもたちはお話を聞くことで、本により興味を持ち、自分から進んで図書室に本を借りに行くようになった。

⑥感想

○ボランティアの方から

- ・子どもたちのお話を聞いているときのキラキラ輝く表情を見るのが、とても楽しみです。この活動で大好きな子どもがもっと増えることを願っています。

活動事例 2

「米づくりプロジェクト」

安宅小学校

- ①実施日 5月15日、7月17日、8月6日、9月19日、12月24日
- ②対象者 5年生 71名
- ③支援ボランティア 校下の営農組合、生産組合の方々
地域の方々（10名）

④活動の概要

- ・社会で米づくりについて学習し、総合的な学習の時間で「米づくりプロジェクト」を実施した。田植え、稲の観察、稲刈りなどを行い、12月にはお世話になった地域の方を招待し、収穫祭を実施した。



⑤活動の成果

- ・今まで食べていた米ができるまでの、苦労や喜びを味わうことができた。収穫祭では、お米の一粒一粒を大切に扱いながら、おにぎりを作っていた。

⑥感想

○児童から

- ・田植えから稲刈りまでの体験を通し米作りの工夫や大変さがわかった。今と昔の米づくりの違いも知ることができた。収穫祭ではお世話になった方に感謝の気持ちが伝えられてよかった。

活動事例 3

「ネギ農家で働く人を調べよう」

安宅小学校

- ①実施日 11月6日
- ②対象者 3年生 70名
- ③支援ボランティア 校下の営農組合、生産組合の方々
地域の方々（7名）

④活動の概要

- ・ネギをつくる過程や箱詰めについての説明を聞き、質問に答えていただく。
- ・ネギの収穫作業や皮むきの体験をする。



⑤活動の成果

- ・直接農家の方から話を聞くことができ、意欲的に学習に取り組むことができた。
- ・実際に収穫体験をすることで、仕事の大変さや工夫を主体的に学ぶことができた。

⑥感想

○児童から

- ・ネギ作りの仕事をしている人は、いろいろな工夫をされていてすごいと思った。ネギはあまり好きではなかったけど、自分で収穫したネギはとてもおいしかったです。

活動事例 4

「登下校時の安全見守り隊」

安宅小学校

- ①実施日 全ての登校日
- ②対象者 全校児童391名
- ③支援ボランティア 保護者や地域の老人会員による
ボランティア

④活動の概要

- ・保護者の方々は、交通安全週間の際、当番制による安全指導を行っている。下校時は、地域の老人会員が中心となっている「わが町防犯隊」が交通安全と不審者からの安全確保を行っている。



⑤活動の成果

- ・安全確保がなされるため、登下校時の大きなけがや事故がない。
危ない歩行をしている児童に声をかけてくださったり、通学路の危険箇所なども見つけて報告してくださったりもした。

⑥感想

○学校長から

- ・天候に関係なく必ず立っていただき心より感謝しています。登下校時の見守りだけでなく、不審者対策として物陰を作らないように樹木の剪定もしていただきました。

- ①実施日 8月7日
 ②対象者 全校児童
 ③支援ボランティア 地域の方3名
 ④活動の概要

全校登校日の平和教育として、戦争当時の様子を話してもらった。写真や地図を使いながら、子どもたちの状況に合わせての講話となった。



⑤活動の成果

教師がどれだけがんばっても体験した人の話にはかなわない。子どもたちはそれぞれが自分のこととして考えていた。身近な人でもこのような機会でないと話が聞くことができないので、とてもよかった。

⑥感想

★語り部の方から★

幼少の頃戦争で父をなくし淋しくつらかったことや人が人を殺し合うむごさを私たちに話させていただきました。どこまで理解してもらえたか自信がありませんが、子どもたちは真剣なまなざしで聞いてくれました。これからも役立つことがあったら協力させていただきます。

- ①実施日
月に1～2回と七夕とクリスマスの時期
 ②対象者
全校児童
 ③支援ボランティア
保護者を中心とした9名
 ④活動の概要

朝と昼休みの読み聞かせ、夏やクリスマスのお話会・6年生を送る会での活動を行ってもらった。



⑤活動の成果

読み聞かせと本の紹介によって、子どもたちの読書意欲を喚起するとともに楽しいふれあいの場を提供することになった。

⑥感想

★ボランティアの方から★

1年生から6年生までと年齢の幅があるため、本や話の内容も様々ですが子どもたちに少しでも興味をもってもらえるものや素直に喜んでくれるものなどを選んでいきます。短い時間での関わりですが、サークルの名前のおり「親からのハートフル（心のこもった）が子どもたちのハートフル（心温まる）会になるようこれからもがんばっていきたいと思っています。

- ①実施日 年間を通じて
 ②対象者 2年児童、3年児童、4年児童、5年児童
 ③支援ボランティア 保護者を含めた地域の方3名
 ④活動の概要 2年生はサツマイモ、3年生はネギ、4年生はイチゴ、5年生は米の栽培指導を行ってもらった。



- ⑤活動の成果 総合的な学習の時間・生活科・理科・社会科等様々な活動であったが、専門の方の指導を受け子どもたちの実体験を行うことができた。本校の教育課程に位置づいている。
 ⑥感想

★ボランティアの方から★

息子のクラスでしたので子どもたちの顔をよく知っており、とても楽しかったです。教えているうちにこちらが一生懸命にならなければ子どもに伝わらないことがわかりました。がんばって農作業をしている子を見ると、将来農家になって欲しいと思いました。

- ①実施日 年間を通じて
 ②対象者 4～6年生児童8名
 ③支援ボランティア 地域の太鼓の達人2名
 ④活動の概要 5月からのクラブ活動において指導を行ってもらった。一つの成果として運動会の開会式で演奏披露を行った。



- ⑤活動の成果 運動会開会式のファンファーレ代わりに演奏では、迫力満点であり大きな拍手をもらった。毎年、行っていくとよいという声があがった。
 ⑥感想

☆子どもたちから☆

はじめのころはうまくいかなくてつらかったけれど、だんだんみんなとそろってできるようになりました。運動会前には朝練もしました。本番ではがんばって力一杯たたきました。家の人にかっこよかったよといわれてうれしかったです。

事業の 成果や課題 今後の予定	学習支援や指導において、それぞれの学校の教育活動のニーズに応えた支援活動が実施された。日常的な活動の中で、子どもたちと地域のボランティアの人達がふれあうことで、地域の活力につながっている。
運営委員会	小松市地域ぐるみ学校支援推進事業実行委員会
担当課	小松市教育委員会教育推進部生涯学習課
TEL・FAX	TEL (0761) 24-8128 ・ FAX (0761) 23-3563

輪 島 市

活動事例 1

「古代米アートを目指して」

町野小学校

①実施日 平成25年 5月20日、10月7日

②対象者 5年生（17人）

③支援ボランティア

地元農家・地区婦人会・保護者 17人

④活動の概要

総合学習の時間に地域のボランティアや保護者から田植えの指導を受け、初めての田植えに挑戦する。

秋にはくっきりと浮かび上がるアートを楽しみに、泥だらけになって頑張った子ども達の顔は輝いていた。

⑤活動の成果

学校での授業とは異なり、青空のもとで地域のボランティア達との交流は、子ども達にアートの完成を与えてくれたようである。

⑥感想

学校から要請を受け、コーディネーターがボランティア募集の声かけを行ったが、予想を上回る人達が集まった。

子ども達は、泥だらけになりながらも笑顔が絶えず、早く秋になったらいいね、待ち遠しいねと稲刈りを楽しみにしているようだった。



①実施日 平成25年5月9日、9月13日

②対象者

南志見小学校1～6年生（34名）

③支援ボランティア

白米千枚田愛耕作会・なじみの会（10名）

④活動の概要

学校授業の一環で世界農業遺産を代表する「白米千枚田」の田植え稲刈り体験と維持継承を目的とした活動をする。

また、地域の愛好会・なじみの会の方々のボランティアにより、指導を受けながらの体験授業をした。

⑤活動の成果

地域で世界農業遺産を代表する「白米千枚田」を維持継承するため、田植え稲刈りの重要性を子供ながらに感じ取ってもらえた。ボランティアの方々も地元の子供たちに継承するための大切さを伝えるため指導にも細かく接していた。

⑥感想

○児童から

田植え・稲刈りは大変だった。でも千枚田をずっと残していきたいと思った。

○ボランティアから

地元の子供たちに田植え稲刈りの大変さを感じてもらえた。また、世界農業遺産を代表する「千枚田」を維持継承していくことの大切さを感じてもらえた。



①実施日 平成25年10月7日、10月21日、11月1日、11月5日、12月5日

②対象者

三井小学校児童（33名）

③支援ボランティア

仁行おけさ保存会（12名）

④活動の概要

輪島市三井町に伝わる民謡「仁行おけさ」の由来を教わったり、踊りを指導してもらった。猿鬼伝説を題材にした同民謡を披露することで、輪島市では知る人が少なくなった猿鬼の話を広く伝えようと練習に励んでいる。

⑤活動の成果

児童達は地元の伝統文化を知ることによって、地域の理解が深まり、愛着も湧いてきた。三井地区に自信と誇りを持つようになった。

⑥感想

●児童達から

思っていたより分かりやすかった。三井のことが知れてよかった。

●学校から

今後も続けていきたい。地域をこえた交流活動に繋げていけたらと考えている。

●地域ボランティアから

子ども達の真面目な姿勢に感心した。話も良く聞き、踊りも一生懸命取り組んでいた。指導者側も驚く程、上達が早かった。『田の神様まつり』では地域の人の前で、力強く踊っていてよかった。



①実施日 通年（月5回）8：15～8：30

②対象者 大屋小学校児童

③支援ボランティア

地域コーディネーター・地域ボランティア

④活動の概要

毎月全ての教室に入るようにしている。

学年に応じた本を選び、各教室で読み聞かせをする。

また、読み聞かせる本は、図書館担当の先生や司書の方と相談し、高学年の教室に入る時は、学校側からの要望も取り入れ、人道的なもの、障害、憲法などに関連したものを読む事もある。



⑤活動の成果

児童たちは、読み聞かせの日を楽しみに待っているようで、とても静かに聞くことができる。

⑥感想

●児童達から

毎回どんな本を読んでももらえるか楽しみに待っている。

●学校から

朝の15分読書が習慣になるように今後も継続していきたい。

●地域ボランティアから

子ども達が集中して聞いてくれるのでやりがいがあり、子ども達と会うのが楽しみである。

継続して来たことで、子ども達の名前を覚えることができた。

子ども達の方から挨拶してくれ、先生に話づらい事を話してくれる子どももいる。また、学校以外で出会っても声を掛けられとてもうれしく思う。



事業の
成果や課題
今後の予定

子ども達にとって、充実した体験活動の機会を得られたり、地域とのつながりを深める機会として有意義であるとともに、学校支援ボランティアに参加した地域の方々にとっても、子ども達から挨拶してくれたとか、学校以外で出会っても声を掛けられたとか、元気を分けてもらったという感想が聞かれる等、自己実現や生きがいつくりの切っ掛けとなっていることから、今後も多くの地域の方々の参加を呼びかけていきたい。

運営委員会

輪島市地域協育推進委員会

担当課

輪島市教育委員会事務局生涯学習課

TEL・FAX

TEL (0768) 23-1176 ・ FAX (0768) 23-1129

羽 咋 市

活動事例 1

「裁縫指導」

羽咋小学校

- ①実施日 7、10、11月
- ②対象者 5年生（75名）
- ③支援ボランティア 地域住民・保護者（5人）
- ④活動の概要 家庭科における実習支援
（玉どめ、玉結び、ぬいとり、ボタンつけ、小物作り、リュック作り）



- ⑤活動の成果
サポート人数が増えることで、針や糸の正しい扱い方やなみ縫い、ミシンの使い方等において、一人一人へのきめ細かな指導を行うことができた。

⑥感想

☆子どもたちから☆

- ・ナップサック作りを教えてくださいました。おかげで手ぬいができるようになったり、ミシンを使えるようになったりしました。
- ・家庭の時間にいろいろ教えていただきました。むずかしかったミシンの返しぬいもできるようになってうれしかったです。

★ボランティアから★

- ・「針は針山へ戻す！」としつこく言っているの、うるさがられていると思っていましたが「それが大事なことだとわかりました。」とお礼を言われたので、伝わっていてうれしかったです。

活動事例 2

「ちびっ子ボランティア」

瑞穂小学校

- ①実施日 平成25年9月3日（火） 平成25年11月7日（木） 平成25年11月14日（木）
- ②対象者 2・4・6年（計90名）
- ③支援ボランティア 社会福祉協議会の方 1名

④活動の概要

目が不自由な方のお話を聞き、ガイド体験をしたり、実施に点字を打つことで、目が不自由な方々への理解を深めたり、どのように接すればよいのかを学んだりする。これらの活動を通して相手を思いやる気持ちや実践しようとする態度を育てる。

⑤活動の成果

実際に障害のある方からその体験を聞くことと、ガイド体験をすることにより自分を含めたみんながよりよい生活をするということについて考えるよい機会となった。

⑥感想

<子ども達の感想>

点字を体験しました。目が不自由な人の生活はふべんなところがたくさんあると思いました。これからも、体が不自由な人がいるしゃかいではみんなが過ごしやすい生活ができるようになればいいな、と思います。

①実施日 平成25年5月7日（火）、11月8日（金）

②対象者 6年生16名 及び 2年生12名

③支援ボランティア 地域の老人会（9名）

④活動の概要

2年生と6年生が老人会の方々に植え方を教えて頂きながら、苗植えを行った。また、水やりの仕方なども教えていただき、その後、6年生が水やりや草取りの世話をを行った。

10月に入り、2年生と6年生でさつまいもを収穫した。たくさんのさつまいもが収穫できた。

そこで、植え方を教えていただいた老人会の方々をお招きして、感謝の会を行った。

⑤活動の成果

老人会の方々は優しく丁寧に教えて下さったので、子ども達は楽しく苗植えを行った。6年生は、教えて頂いた水やりの仕方を守り、熱心に世話をしていた。たくさんのさつまいもが収穫できたときには、どの子も大喜びだった。

2年生は収穫した喜びを、さつまいも掘りを題材にした絵に描いて表現した。6年生は、収穫したさつまいもを使った料理を作ったり出し物を工夫したりしながら、老人会の方々をお招きして感謝祭を開催することができた。

⑥感想

○子どもたちから

- ・さつまいもを植えたとき、カラスに食べられないか心配になりました。おじさん達が「水」をいっぱいやればいい」と教えてくれました。本当にできるか楽しみです。（2年生）
- ・2年生とさつまいもの収穫をしました。つるを引っ張るとごろごろといくつもさつまいもがくっついてきました。大きなさつまいもは、2年生といっしょに土を掘ってとりました。思ったよりもたくさん収穫できたのでうれしかったです。（6年生）
- ・苗植えの準備から片づけまでお世話して下さいました老人会みなさんに感謝の気持ちを伝えました。私たちの群読と劇で老人会みなさんが喜んでくれたので、感謝の気持ちを伝えられたと思いました。（6年生）



○老人会の方から

- ・子どもたちはしっかり話を聞いて、上手に植えていました。たくさん収穫できたと聞いてうれしかったです。感謝祭では、おいしい料理をいただきました。子ども達の群読の様子や劇を見ることができ、とても楽しかったです。苗植えのお世話ができて良かったと思いました。

①実施日（時間）

毎日 登校時 7：30～8：10の中で
下校時 15：10～16：00の中で

②対象者 1～6年生全校児童（108名）

③支援ボランティア

地域の方や保護者、長寿会員によるボランティア

④活動の概要

毎日登下校時刻に合わせて、見守り隊の方々が方面毎に児童と一緒に歩き、挨拶等の声かけや交通安全、不審者からの安全確保を実施している。



⑤活動の成果

児童が安全に登下校することができ、気づいたことを学校側に伝えてもらうことができる。また、不審者が出なくなり、児童は安心して登下校することができる。

⑥感想

○児童から

いつも見守ってくださってありがとうございます。安心して登下校することができます。見守り隊の方とお話するのが楽しいです。

○ボランティアから

地域の子どものことがよく分かり、触れ合うこともできるので、生き甲斐になっています。いつも子ども達から元気をもらっています。

①実施日 ・将棋・囲碁…平成25年9月19日（木）（他3回）

・水墨画 …平成25年9月19日（木）

②対象者 4年・5年・6年（計15名）

・ボードクラブで「将棋」「囲碁」 ・アートクラブで「水墨画」

③支援ボランティア 地域の方 5名（男性3名、女性2名）

④活動の概要

・囲碁は、基本的なゲームの仕方や石の取り方、将棋は、先生1人対子ども4人等実践を通して指導していただいた。

・筆の種類、筆の使い方、濃淡の付け方、力の入れ方、お手本を見ること等を指導していただいた。

⑤活動の成果

・知識豊富な方に、実際、相手になっていただき、コツを指導してもらえたので、ゲームをすることが楽しみになった。

・作品が2つでき、どこがうまくできたか比べながら鑑賞していた。良い方を廊下に掲示した。満足しているようだった。

⑥感想

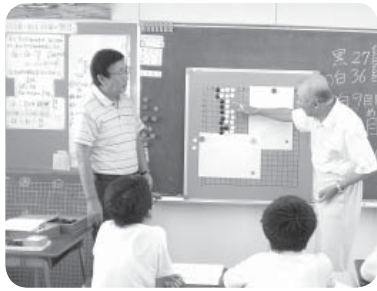
<子ども達の感想>

・自分が考えていた手ではなく、ちがう所に動かす手を教えてもらってうれしかった。

・「亀」は、墨だけだったけど、「コスモス」は、色の付け方を習った。初めは、難しそうだったけど楽しかった。

・葉っぱは、難しかったが、花びらを軸につけること、筆は、ねかせて使うことを初めて教えてもらいました。





活動事例 6

「クリスマスお話し会」

邑知小学校

- ①実施日 平成25年12月17日（火）
- ②対象者 全校児童
- ③支援ボランティア 図書ボランティア（保護者）
- ④活動の概要

毎週来校し、図書室の環境整備や読み聞かせなどを行っている図書ボランティアさんたちが、毎年12月に「クリスマスおはなし会」をしている。今年は「3びきのこぶた」をパネルシアターで演じ、役割読みをした。次に「きよしこの夜」をミュージックベルで演奏し、その後そのミュージックベルに合わせて全校で「きよしこの夜」を歌った。最後に感想の交流をした。



⑤活動の成果

全校児童対象の「クリスマスおはなし会」は、パネルシアターで大変わかりやすく、お話をよく理解することができた。

ミュージックベルの演奏は、とてもきれいで、児童は大変喜んだ。児童があまり知らない「きよしこの夜」も、歌詞を大きく書いてあったので、みんなで歌うことができた。

⑥感想

<児童>

- ・「3びきのこぶた」のお話を知らなかったなので、楽しかったです。ミュージックベルの演奏がすてきで、耳を清ませて聞いていました。
- ・ミュージックベルの「きよしこの夜」がとてもきれいな音でびっくりしました。
- ・「3びきのこぶた」のペープサートがかわいいし、見えやすくてよかったです。
- ・とても上手にミュージックベルを弾いていたので、すごいなあと思いました。

<図書ボランティア>

- ・子どもたちが喜んでいる様子がわかりがんばってよかったと思いました。
- ・ずいぶん前からミュージックベルの練習をしていたので、子どもたちの拍手をもらったとき、達成感を感じました。がんばって練習してよかったです。
- ・また来年も、みんなが喜ぶようにお話や曲を考えて準備したいです。

事業の 成果や課題 今後の予定	本事業に取り組む以前から、各小学校においては、様々なボランティアが学校支援事業を行っていたが、本事業を活用することにより新たなボランティアの発掘や各小学校の活動情報の共有化が図られた。また、活動に必要な経費の手当等により効果的な事業運営が行われた。今後とも地域のシンボルでもある学校を中心とした、住民同士のつながりを深めて行きたい。
運営委員会	羽咋市地域ぐるみの学校支援推進事業実行委員会
担当課	羽咋市教育委員会事務局生涯学習課
TEL・FAX	TEL (0767) 22-9331 ・ FAX (0767) 22-9332

白山市

活動事例 1

「ハリンコ観察・稲作体験・クラブ活動補助」

蝶屋小学校

- ①実施日 年間を通じて
- ②対象者 小学校4・5・6年生
- ③支援ボランティア 地域ボランティア
- ④活動の概要

◇ハリンコ観察 美川自然人クラブを中心に親水公園でハリンコを採取。4年生が参加。



◇稲作体験 種まき、田植え、稲刈りと農業を体験、観察。5年生が参加。



◇茶道クラブ補助 日頃の成果を美川文化祭でも披露。4・5・6年生がクラブに所属。



⑤活動の成果 技術を教わるだけでなく、地域の方と自然に交流を図ることができる。

⑥感想

○ボランティアさんより…

- ◇地元の希少種生物を知ること、地域と生き物を大切にすることが芽生えることが嬉しい。
- ◇子どもたちが興味をもって観察し、よく質問してくれることで自分も勉強になる。
- ◇地元の川やトミヨと湧き水のことなどを理解してもらえてやりがいがある。

○児童より…

- ◇稲作体験を通して、農家の人たちの苦勞がとてもよくわかった。
- ◇食事の時においしいお米を食べられることに感謝したい。

○学校より…

- ◇茶道クラブに参加した児童は、とても礼儀正しく作法を身につけることができた。
- ◇6年生のメンバーを中心に美川文化祭でも活躍してくれた。

- ①実施日 月2回
 ②対象 図書館
 ③支援ボランティア 地域ボランティア

④活動の概要

図書の汚れ取り
 図書の整理
 図書館の掲示物の作成など

⑤活動の成果

図書館がいつも整備されている状況であり、ボランティアの方々ที่わきあいあいと作業してくれていることで、図書館の雰囲気がとてもあたたかい。また、図書の汚れを取る作業などを子どもたちが目にするすることで、本を大切に扱う気持ちも育てることができる。

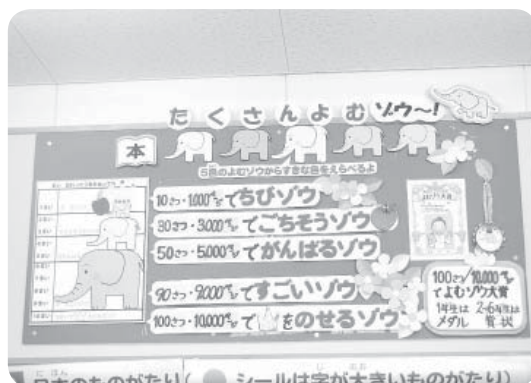
⑥感想

○ボランティアさんより…

- ◇ボランティアをすることで図書の知識も増え、とてもやりがいがある。
- ◇ボランティアさん同士でわきあいあいと作業ができ楽しい。
- ◇子どもたちが興味をもって作業を見にきてくれることも多く、交流を図ることができて嬉しい。

○学校より…

- ◇子どもが喜ぶ楽しい掲示物を、時期や目的に合わせて作っていただき感謝している。
- ◇ボランティアさんが得意とする分野の作業をお任せすることで、ボランティアさん自身が満足感を得て作業していただけたらとても嬉しい。
- ◇ボランティアさんに気持ちよく作業していただき、子どもたちにとってよりよい図書館づくりにつなげていきたい。



- ①実施日 年間を通じて
- ②対象者 小学校全校生
- ③支援ボランティア 地域ボランティア
- ④活動の概要

1. 春の遠足（山菜採りボランティア）
山菜遠足で、食べられる山菜を紹介してもらい、全校児童で味噌汁や天ぷらにして食べる。
2. 絵画指導ボランティア
水彩絵の具による静物画の描画方法を習う。
3. 外来植物除去ボランティア
登山者の靴底などについた種から生長した、外来植物（オオバコなど）を除去するNPO法人の方々に見分け方と除去方法を学ぶ。除去後はオオバコ茶にして飲料する。
4. 読み聞かせボランティア
毎週金曜日、朝読書の時間に本の読み聞かせ、また、「読書まつり（11月）」のおはなし会では、ギター演奏やクイズも披露してもらう。



1. 春の遠足（山菜採り）



2. 絵画指導

⑤活動の成果

- ◇さまざまな活動を通して、子どもたちが地域の方々と交流を図ることができる。
- ◇専門的な知識を持った方々の指導により、「本物」を体験することができる。
- ◇現代的な内容に触れることができる。

⑥感想

○ボランティアさんより…

- ◇子どもたちの笑顔に会うのが楽しみで、活動の日が来るのが待ち遠しく感じる。
- ◇地域のよさを児童と共有できることがうれしい。
- ◇自分たちの活動を子どもたちに知ってもらえてうれしい。

○児童より…

- ◇難しいことでも、親切に教えてくれるのでわかりやすい。
- ◇できるかなあとって不安なときでも、ていねいに教えてくれるので最後までがんばることができた。

○学校より…

- ◇子どもたちのために根気よく丁寧に教えていただき、とてもありがたいと思っています。



3. 外来植物除去



4. 読み聞かせ

- ①実施日 月1回
 ②対象者 小学校4・5・6年生
 ③支援ボランティア 地域ボランティア

④活動の概要

1. クッキングクラブ

火の使い方など、料理の基本を習う。盛りつけのアドバイスなど、料理を楽しむことも教わることができる。

2. 生け花クラブ・茶道教室

生け花や茶道の基本を習う。また、活動を通して行儀や日本の風習などについても身につけていく。



1. クッキングクラブ

⑤活動の成果

クラブ活動を通して、子どもたちが地域の方との交流を図ることができる。
 各専門の方に指導していただくことができ、生徒たちの上達も速い。

⑥感想

○ボランティアさんより…

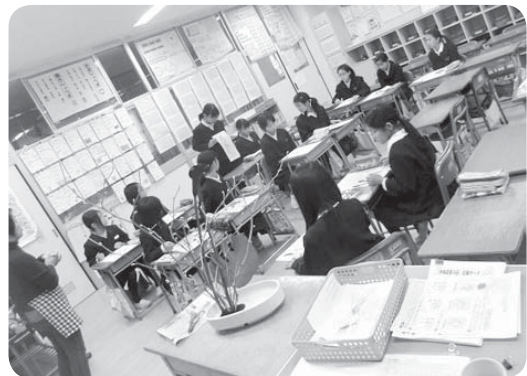
- ◇子どもたちに会うことがとても楽しみで、活動の日を楽しみに過ごしている。
- ◇子どもたちに会うと元気をたくさんもらえる。
- ◇活動を通していろいろ会話できることが楽しい。

○児童より…

- ◇いつもクラブに行くことを楽しみにしている。
- ◇工夫することでいろいろなことができるということを教えてもらっている。
- ◇習ったことを家でもやってみている。

○学校より…

- ◇何年も意欲的にやっていたいことに感謝している。
- ◇自然な形で教えていただいているので子どもたちが楽しそうに参加している。
- ◇丁寧に根気よく教えていただき、皆、楽しみに学習でき助かっている。



2. 生け花クラブ

事業の 成果や課題 今後の予定	<p>地域住民が学校における活動に関わることで、学校や子どもに親しみをもち、学校や子どもへの理解が図られている。</p> <p>ボランティア活動に対する意欲を高め知識を深めるために研修会を開催し、事業の充実・発展を図っている。</p> <p>今後はより多くの学校でより多くのボランティア活動ができるよう、市民への周知とあわせて各学校においても活動を紹介できるよう進めていきたい。</p>
運営委員会	白山市学校支援地域本部実行委員会
担当課	白山市教育委員会事務局生涯学習課
TEL・FAX	TEL (076) 274-9572 ・ FAX (076) 274-9004

宝達志水町

活動事例 1

「稲刈り体験」

樋川小学校

①実施日 平成25年10月3日（木）10：30～12：00

②対象者 5年生（22名）

③支援ボランティア

地域の体験農園ボランティア（3名）

④活動の概要

5月下旬に全員で田植えをしてから、出穂・開花などの観察を続け、大きく育った稲の刈り取りをした。ボランティアの指導を受けながら、鎌を使って稲を刈り、コンバインで脱穀するまでを体験する。



⑤活動の成果

ボランティアの方々の親切・丁寧な指導を受けながら、全員が鎌で一株ずつ刈り取り、束にして運んだ。初めての手作業による稲刈りで、思ったように切れず、腕や顔もかゆくなり、大変な作業となった。それでも、全員で協力し、無事に作業を終えて、昔の人の苦勞と収穫の喜びを感じ取ることができた。

⑥感想

○児童から

- ・鎌を使った初めての稲刈りで、上手に刈り取ることができるか、とても不安でした。ボランティアの方から一株ずつしっかり手で握り、稲に当てた鎌を強く手前に引くと良いとアドバイスを受け、「ザクザク」と刈り取ることができて感激しました。
- ・今日、刈り取った稲の品種は「大正もち」といって、たいへん貴重な品種だそうです。最初はなかなか刈り取りが進まず、時間内に決めた範囲まで刈れるだろうかと心配になりました。でも、みんなで協力して、無事に刈り取りを終えることができました。3学期に今日、収穫した「大正もち」で、もちつき大会を行うのが、今から楽しみです
- ・鎌で稲刈りをするのは、すごく疲れたけれど、とても良い体験になりました。「昔の人はこんな苦勞をして稲刈りをしていたんだな」と知って、これからは感謝しながら、ごはんを食べないといけないと思いました。
- ・今年は刈り取った稲をコンバインという機械で脱穀しました。大きな機械で、僕たちの手に持った稲を次から次と中の方へ運ぶ力強さに驚きました。やっぱり機械の力はすごいなと思いました。

活動事例 2

「ふるさとクラブ」

宝達小学校

①実施日 平成25年12月12日（木）14：45～15：30

②対象者 ふるさとクラブ員（12名）

③支援ボランティア

山元忠治さん・梅田喜代美さん



④活動の概要

和紙と角材で「和だこ」づくりを行った。日頃、児童がなかなか体験できない昔遊びを教わり、自分の手で最後までつくることができた。当日は天候が悪かったので、室内（マルチホール）でのたこあげとなったが、児童は上がり具合を確かめたり、タコ糸の調整を楽しんだりした。

⑤活動の成果

手作り工作や伝承遊びを体験することで 手作りのよさや伝統文化に触れることができている。大量生産・大量消費の時代に育つ現代っ子にとっては貴重な体験のひとつとなっている。今後も継続していきたい。

⑥感想

○学校長から

全児童が楽しく参加でき、このクラブにしか体験できない学びを感じている。

活動事例 3

「図書館の整備支援ボランティア」

志雄中学校

①実施日 毎月第1火曜日 午後1:30～3:00

②対象者 全校生徒

③支援ボランティア

地域の図書館ボランティアグループ



④活動の概要

昨年度より学校図書館の本の整理や「季節の飾り」作りなどをしてもらっている。昨年度は月2回、今年度は月1回のペースで来校し、作業をしていただいている。

⑤活動の成果

学校図書館の環境が良くなり、来館する生徒が増加している。また、貸出冊数も増えており、明るい図書館の雰囲気が、貸出冊数の増加と結びついている。

⑥感想

○図書委員から

地域ボランティアさんが毎月季節を感じさせる飾り付けを作ってくださいるので、図書館が明るく楽しい雰囲気になります。

おかげで委員会の活動も楽しく取り組めてうれしいです。

事業の 成果や課題 今後の予定	地域住民が学校行事等に関わることで、地域全体で子どもたちを育成していく意識が向上し、地域の絆を深めることができた。 また、ボランティアとの交流が、子どもたちの心を育むことにもつながっていることから、今後も地域全体での学校支援を継続していきたい。
運営委員会	宝達志水町学校支援地域本部実行委員会
担当課	宝達志水町教育委員会事務局生涯学習課
TEL・FAX	TEL (0767) 29-8320 ・ FAX (0767) 29-2333

中能登町

活動事例 1

「水泳指導」

鹿西小学校

①実施日

平成25年7月9日(火)

②対象者

4年生 32名

③支援ボランティア

中能登町水泳協会員 4名



④活動の概要

町水泳協会員による水泳指導。

また、一部児童が町立小学校水泳交歓会に参加ための苦手種目の指導や、水泳の楽しさを教えることを大きな目的とした。

⑤活動の成果

ボランティアの方々の指導はとても分かりやすく、良かった。

また、苦手な種目についても大きく改善され、上達が目に見えて感じられた。

⑥感想

○子ども達

- ・ 苦手な種目が泳げるようになり、良かった。
- ・ 得意な種目がより上手く泳げるようになった。
- ・ 水泳の授業がたのしく出来て嬉しかった。
- ・ 水泳交歓会（参加した児童）で良い記録が残せて、良かった。

○ボランティア

- ・ 子どもたちのやる気が大きく、指導していてもやりがいがあった。
- ・ 毎年、行っているが、年々上達していて指導していても楽しいです。



①実施日

平成26年1月30日(木)～31日(金)

②対象者

5、6年生 24名

③支援ボランティア

地域ボランティア 1名



④活動の概要

宿泊研修を通して、団体生活を学ぶ。

スキー活動を使い、野外活動を行ない、体力作りを行なう。

⑤活動の成果

宿泊研修により、団体生活を体験できた。

地域ボランティアの方のおかげでスキー活動が予定通り行なえた。

また、児童全員、スキーが上達した。

⑥感想

○子ども達

- ・スキーがたくさんでき、楽しかった。
- ・宿泊研修で普段経験できないことがあり良かった。
- ・スキーを指導してもらい、上手になって楽しかった。

○ボランティア

- ・普段、接することのない子ども達と活動でき、楽しかった。
- ・子ども達の積極的な姿勢に感動した。



事業の
成果や課題
今後の予定

本事業に取り組み5年目。一昨年よりコーディネーター役が生涯学習課職員が行い、町立各小中学校からの希望・要望により、ボランティアの依頼を行なっている。

大きな問題点としては、ボランティアの方への依頼が毎年同じ様な内容のため、依頼する方が偏った人選になる傾向が強い。

来年度以降は、ボランティアの方々の把握を更に行い、学校にも多種多様な内容を案内し、いろんな依頼があるよう働きかけた方が良いと感じた。

運営委員会

中能登町学校支援実行委員会

担当課

中能登町教育委員会生涯学習課

TEL・FAX

TEL (0767) 76-2024 ・ FAX (0767) 76-0909

穴水町

活動事例 1

「見守り隊の授業」

穴水小学校

①実施日

平成25年6月21日

②対象者

1年生児童 43名

③支援ボランティア

子ども見守り隊代表

④活動の概要

道徳授業の中で子ども見守り隊として毎週、下校児童の見守りやパトロールをしている方に命の大切さや相手を思いやる気持ちについて講演してもらった。



⑤活動の成果

毎週1回、下校時の子どもの見守りやパトロールをしている子ども見守り隊の方からあいさつを通じた人と人とのつながりや思いやりの心を育むことにつながった。

⑥感想

○見守り隊の方から

今回、1年生に見守り隊についてお話をさせていただきました。私は、毎週1回ですが主に駅前を下校の様子を見守っています。子どもたちは、見守り隊に元気よくあいさつしてくれます。これからも感謝の気持ちを忘れず、あいさつを続けてほしいです。

○子どもたちから

私たちが安心して安全に下校できるのは子ども見守り隊のみなさんがいるからです。雨や雪の降る天気の良い日も交差点等の通学路で私たちを見守ってくださりとても感謝しています。これからもあいさつが上手く出来るように頑張ります。

活動事例 2

「放課後の児童の見守り」

向洋小学校

①実施日

年3回

②対象者

放課後、下校のバスを待つ児童 約10名

③支援ボランティア

地域住民

④活動の概要

職員会議で教職員が児童を見ることができないとき、運動や自習をしてバスを待っている児童を見守る。



⑤活動の成果

放課後の約1時間、運動をしている児童は安全に安心して、自習をしている児童は静かに取り組めるようになった。

⑥感想

○子どもたちから

バスを待っている私たちを見守って頂きありがとうございます。おかげで、安心して自習や運動ができます。これからもよろしくお願いします。

○地域の方から

放課後、下校のバスが来るまでの時間、宿題や運動をしている児童を見ていました。遅いときは2時間近く待たなければいけない児童もいますが、時間を有効に使うと真面目に取り組んでいる子もいます。その様子にいつも感心しています。

活動事例3

「部活動の指導」

穴水中学校

①実施日 毎日

②対象者

女子バスケットボール部 13名

③支援ボランティア

地域住民

④活動の概要

毎日、地域の方が女子バスケットボール部の部活動の指導をしている。



⑤活動の成果

バスケットの技術はもちろん、相手への思いやりや礼儀についても学んでもらう。

⑥感想

○生徒から

いつも私たちにバスケットを教えに来てくれてありがとうございます。おかげで、細かい技術などを修得することができました。

○先生から

毎日、指導に来て頂きありがとうございます。地域の方が指導に来てくれることで、部員もより真剣に取り組んでおり、技術の向上や思いやりの心を育むことにもつながっていると思います。これからも変わらぬご指導の程よろしくお願いします。

事業の 成果や課題 今後の予定	活動開始から5年目となった。特に子ども見守り隊の活動は開始から4年目となり定着してきている。これからも継続していきたい。 今後は、放課後、自習や運動をしている児童の見守りにも取り組んでいきたい。部活動の指導は以前から行っているが、継続していきたい。
運営委員会	穴水町学校支援実行委員会
担当課	穴水町教育委員会事務局
TEL・FAX	TEL (0768) 52-3720 ・ FAX (0768) 52-2694

平成25年度地域コーディネーター研修会

【趣 旨】 学校と地域との連携・協力体制を構築し、地域全体で学校を支え、子どもたちを健やかにはぐくむことを目指し、地域住民のボランティア活動等による積極的な学校支援の取組を促すため、地域コーディネーターの資質向上を図る。

また、県内の取組事例を市町に周知し、共有すること等を通じ、地域が学校を支援する取組の推進と継続を図る。

【対象者】 市町実行委員会及び各地域教育協議会委員、地域コーディネーター
学校支援ボランティア、学校関係者、各市町担当者、
放課後子どもプランコーディネーター等関係者 など

【日 時】 平成25年11月26日（火）13：10～16：00

【場 所】 石川県庁行政庁舎301会議室

【内 容】

（1）講 演

「学校と地域が共に支え合うこれからの教育活動」

講 師

小平市立学校 学校支援コーディネーター連絡協議会 会長 布 昭子

（2）演 習

コーディネーターどうし語り合いましょう（グループ討議）

【参加者の声】

- ・この制度は、子どもを育てるために、地域が力を合わせる取り組みであることがよく解った。
(行政職員)
- ・地域コーディネーターの役割・意義がよく解った。(地域コーディネーター)
- ・教員、地域コーディネーター、学校支援ボランティア、それぞれ違う立場の方々とグループ討議で話ができよかった。立場により、捉え方が違うと感じた。(地域コーディネーター)





平成26年3月発行

石川県教育委員会事務局生涯学習課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1837 FAX 076-225-1838

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/index.html>

「印刷用の紙にリサイクルできます」